

## idlers Games の基本的考え方と参加資格

私たちは愛車と共にレースをする。しかし、単に着順のみを争うレースではない。  
勝敗以上に、アイドルズゲームスの時間と場所を作ることを第一義としよう。  
そうした空間の中でジェントルなレースを行うことを誓った者のみが参加することができるのが  
idlers Games の基本的な考え方。

我々はいつか必ず老いてしまう。身体が動かなくなる。その時に支えてくれるのは思い出です。  
その思い出を作る場であることを理解し、共感することを守ってください。

参加するすべての大人たちが自動車少年に戻り、愛車や他のエントラントと共に真剣に遊ぶゲームであることを理解し、  
共感することが参加にあたり最大の条件となります。

ドライバーは、それぞれのテーマを明確に持ち走行してください。  
一緒に走る仲間、愛車を仕上げるメカ、そして、サポーターと共に、  
idlers Gamesという時間と場を作ることを理解し、共感することが大切です。

また、レースもスポーツ走行も、エントラントのみなさん、オフィシャル、コース、主催者の  
4者が揃うことで成立させることができます。  
全員がidlers Gamesを創る主人公であることを忘れないでいきましょう。

車輛のレギュレーションをどんなに厳しくしても、またワンメイクレースでも  
ハードウェアはイコールコンディションにはならないと思います。  
アイドルズが目指すのは心のイコールコンディションです。

## スプリント共通・前提 項目

■目的サーキット走行をレース形式で行い、クラブマンシップを大切にしたゲームフィールドとして idlers Games を設定します。

### ■レースの前提

- ・競争を行うにあたり、参加クラスの時間を創ることを第一義とし、全員でゴールすることを目的とします。
- ・いかなるレースにおいても、走行ラインやブレーキングポイントなどの走行状況において、先行する車輛が優先します。
- ・その優先権を放棄せよという指示が青旗によって示されます。
- ・レースは、エントラント、オフィシャル、コース、主催者の4者によってのみ成立させることができることを自覚してください。
- ・ドライバーは普通運転免許証保持者で、idlers Gamesの趣旨に共感できる大人のエントラントであることが必要です。  
その他、サーキットライセンスやJAF A・Bライセンスなどは必要ありません。(未成年の場合、親権者誓約と本人の経験により事務局判断により参加を認めます)
- ・事前に確実な車輛点検を行い、オイル漏れ、車輪の脱落など、コース、および、競技に支障がない状態を保証することが必要。
- ・ドライバーはフラッグの色と意味を記憶、理解している事が必要です。  
フラッグの色と意味を理解されていない方の走行はお受けすることができません。
- ・ドライバーズブリーフィングには必ずご参加ください。ブリーフィングにはサーキットを安全に走る上での、絶対必要な項目が含まれています。  
当日のみ適用のルールなども、ブリーフィングで説明します。不参加の場合、出走を取り消しにさせて頂く場合があります。
- ・体調が優れないなどの場合は無理はせず、リタイヤをする勇気を持つことが大切です。
- ・ドライバーはメカニックやサポート要員、応援の方など自己のクルーの行動に責任を持ち、危険な行動や場所に立ち入らないよう指導してください。  
クルーの危険行動やルール違反はドライバーへペナルティを課せます。
- ・ドライバーは、走行中にアクシデントなどが発生した状況などを想定し、対応方法や脱出方法などをイメージトレーニングするよう心がけてください。

■その他・個別の車輛規定に記載した内容が共通項目と違う場合、個別の車輛規定が特別規定として優先します。

**■サーキットへの入場、駐車について**

- ・ 車輛通行証は、サーキットへの入場証になっています。必ず入場前にフロントウィンドウに貼り付けてください。
- ・ 車輛通行証がない車輛は、サーキットへの入場料が（駐車料）必要となる場合があります。これはサーキットにより異なります。
- ・ また、サポートカーやトランスポーター用の車輛通行証も同様です。
- ・ 車輛通行証は再発行しません。紛失などにご注意ください。

**■パドックパスと駐車位置**

- ・ 競技車輛、サポートカー、トランスポーターの駐車位置、および、待機位置については、Games ごとのパドック表と当日のスタッフの誘導に従ってください。
- ・ 第一パドックへ駐車可能なサポートカーはワンボックスサイズまでです。キャンピングカーやトランスポーターなどの大型車は、第一パドックへ進入、駐車することができません（車輛進入券を使用した場合はその限りではありません）。

**■その他**

- ・ サーキット内でトランスポーターより競技車輛の降車を含め、エンジンの空吹かしをご遠慮ください。周辺住民の方への騒音公害となるばかりでなく、苦情により、イベントの開催そのものが危ぶまれます。また、遠方よりお越しの方が、受付時間まで仮眠をされている場合もありますので、ご注意ください。

**■参加確認受付と、自動計測器（トランスポンダー）について****●受付**

- ・ エントラントは指定された時間内に、参加受理証をお持ちになって、事務局テントで受付を済ませてください。（時間は別紙タイムスケジュールで確認してください）
- ・ 参加申込受付後、お送りする封筒（参加受理書の変わりになる場合があります）、または、参加受理書を忘れずにお持ちください。イベントにより「受理書」を省く場合があります。

**●自動計測器（トランスポンダー）**

- ・ 計測器は、受付時にお渡しします。必ずお受け取りください。
- ・ 競技終了後、すみやかに計測器の返却をお願いします。決勝終了 15 分以内の返却にご協力をお願いします。
- ・ 万一、計測器を破損、紛失してしまった場合は実費を頂く事になりますのでお気をつけください。
- ・ 事故などによりドライバー本人が返却できない場合は、メカニックやサポートクルーが責任を持って返却するようにしてください。

**■出走前説明（ドライバーズブリーフィング）の会場について**

- ・ ブリーフィングルームにて行います。ドライバーの方はブリーフィング / 車輛検査チケットを持参して出席してください。
- ・ 12 時間耐久などの場合、ブリーフィングチケットなどの発行が行われません。

**■フリー走行、予選について（耐久を除く）**

- ・ タイムスケジュールに従って、パドックより、ピットレーンに移動後、通常の走行会形式でスタートします。パドックよりピットレーンへの移動は、誘導スタッフにより行います。
- ・ 走行中のピインは随時可能ですが、終了 5 分前にはコース上へ復帰、または、パドック駐車位置へ移動してください。次のクラスの車輛が待機のため、ピットレーンへ進入してきますので、ピットレーンは使えなくなります。
- ・ イベントにより、フリー走行と予選が同じ時間枠の中で行われる場合があります。その場合、フラッグタワーよりグリーンフラッグ振動にて予選開始を合図します。（イベントにより、フラッグの種類、および、表示方法が変更になる場合があります）

■車輻規定	・各クラスの車輻規定によります。
エンジン仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターボやロータリーの排気量係数は以下とします。</li> <li>ターボ/スーパーチャージャー 排気量 ×1.5=参加排気量</li> <li>エリゼ/エキシージ 排気量 ×1.2=参加排気量</li> <li>ザウルスなどのカスタム 排気量 ×1.4=参加排気量</li> <li>ロータリー 排気量 ×2.2=参加排気量</li> </ul>
ボディ仕様	・各クラスの車輻規定を参照。
ロールケージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6点式以上のロールケージ装着を極めて強く求めます。クラス規定を優先し、義務とする場合があります。</li> <li>・サイドバーの装着を極めて強く推奨。</li> <li>・ドア素材をオリジナルの鋼板から軽量化素材、または、低強度素材に変更した場合、サイドバーの装着が義務。</li> </ul>
ロールケージの構造材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外径 40mm/ 肉厚 2.0mm 以上とし、冷間引き抜きの継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください。</li> <li>・クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA 規定の外径 40mm/ 肉厚 2.0mm を適用します。</li> <li>ラリアート規定の外径 38.1mm、肉厚 21.6mm 鋼材の使用が可。</li> </ul>
ロールケージの装着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼材の検査のために直径 5mm の穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲ってください。</li> <li>・溶接による装着を強く推奨。</li> <li>・ボルトオンの場合、厚さ 3mm 以上、面積 120cm<sup>2</sup> の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材 / サイズで、ボディ床部を上下から挟み込むように（オスボルトは下から上へ通す）設置してください。</li> <li>設置のボルトは、8mm 以上の 4T ボルトとし、4 本以上のボルトによって固定してください。</li> <li>・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着してください。</li> <li>・前後バルクヘッドの貫通が可。その場合、貫通口の隙間は不可とします。</li> </ul>
サイドバーの鋼材	・ロールケージと同様の鋼材を使用。アルミ素材は不可。・サイズは、外径 38mm/ 肉厚 2.5mm 以上必要です。
シートベルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FIA 基準 8856-2000 規格の 4 点式シートベルトの装着を義務とする。</li> <li>・耐用年数は、製造表記より 5 年です。</li> </ul>
灯火類	・ストップランプ、テールスモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要。
バッテリー	・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全に隔離することが必要。
オイルキャッチタンク	・内容量 2 リットル以上のオイルキャッチタンクの装着が義務。その際、内容量を確認できることが必要。
消火器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1kg 以上の容量を持つ消火器の設置を強く推奨。・3kg 以上の容量を強く推奨。</li> <li>・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消火できることが望ましい。または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることが必要。その取付けは、横転時においても離脱しないことが必要。</li> </ul>
キルスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キルスイッチの装着を強く推奨。</li> <li>・取り付け位置は、車輻前部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内。</li> <li>・車内の設置においては、運転者が操作可能であることが必要。</li> </ul>
排気音量	・各サーキットの基準に適合することが必要。
タイヤ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイヤサイズは問いません。ただし、車体からはみ出しは禁止です。</li> <li>・スリップライン（1.6mm）以下の溝となったタイヤの使用は不可。</li> <li>・SupercupSS、および、SuperZ クラスを除き、一般的に市販されているラジアルタイヤのみ使用が可。</li> <li>・ラジアル構造であってもスリックタイヤ、やドライ路面におけるレインタイヤの使用は不可。</li> <li>・タイヤサイズは問いません。ただし、装着時にタイヤ上部が車体からはみ出しは不可。</li> <li>・ウォーマーの使用、および、人的作用を含むクールダウン、及び、溶剤塗布は禁止です。</li> <li>・一切の加工が不可。</li> <li>・使用可能本数は、予選/決勝を通じて 1 セット（4 本）の使用が可。</li> <li>ただし、パンクなどやむを得ない場合は、主催者の許可を得た後に追加使用が可。</li> <li>ウエット路面の場合、1 セットのみ交換追加が可能。</li> </ul>
バッテリー	・純正装着位置の変更は可。・電圧の変更は不可。
ウインドウ素材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントウインドウを除くウインドウのアクリル化が可。ただし、クラスごとの規定が優先。</li> <li>一部車輻において、フロントウインドウのポリカーボネートへの交換を認めます。</li> <li>その場合は必ず事前に事務局への連絡が必要。</li> <li>・フロントウインドウへの加工を行う場合は、事前に事務局への連絡が必要。現車確認後、別途誓約書の提出を依頼する場合があります。</li> </ul>

車輻規定は各クラスごとに設定されている項目が優先されます。

共通項目 -3 / 車輻規定 2-1  
項目は随時更新する場合があります

■車検検査について

- ・タイムスケジュールに記された時間内で、車検場を使用して車検を行います。検査時間開始までに、テーピングなどの準備を完了させ、指定時間に車検場に車輛を持ち込んでください。車検時間内においてならなかった場合、出走を認めることができません。
- また、失格になる場合もあります。車検検査は車検場使用の他に外向車検の場合もあります。

■検査のための準備箇所

- ・ライト、レンズ類へのテーピング（ライトリムまでテープをかける）、バッテリーのプラス端子、ブレーキシリンダーオイルケース、クラッチオイルケース、ホイールのバルンサーなどにもテーピングしてください。
- ライトやレンズ類へのテーピングは透明の幅の広いビニールテープを使用してください。
- テーピングのためのビニールテープやガムテープなどは、事務局では用意していません。前日までに準備を完了させておいてください。
- ・一部車輛において、ヘッドライトなどが強化プラスチックなどで作られていますが、大きな面積になりますので、ガラスでなくとも落下防止のためテーピングしてください。テールレンズも同様です。
- ・ノーマルタンク車は、ガソリン給油口にも必ず、ビニールテープでテーピングをしてください。
- ・ゼッケンは左右のドアと、ボンネットにビニールテープで4辺を確実に貼り付けてください。
- 他のゼッケンが貼り付けてある場合は、見えないようにカバーをしてください。
- また、雨天の場合、ビニールテープやガムテープは極度に剥がれやすくなります。貼り付け時に水滴をしっかりとふき取れば、落下をふせげます。
- ゼッケン落下はペナルティの対象になります。
- ・走行が夕方から夜間にかかる場合や雨天の場合はライトオンの指示が出ます。ライト類へのテーピングを必ず透明のビニールテープにしてください。
- ・車検検査時には、運転免許証、レーシングスーツ、グローブ、シューズ、ヘルメットの準備も忘れずに。
- (練習会の場合、綿100%の長そで、長ズボン、指先まで覆う軍手以外のグローブ、運動靴を特に認めます)
- ・事前に確実な車輛点検を行い、オイル漏れ、車輪の脱落など、コース、および、競技に支障がない状態を保証することが必要。

■ゼッケンについて

- ・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、または、一辺40cm以上の四角形の白地に、黒色の太文字を用い、算数字の数字で表記してください。
- ・ゼッケン数字の書体は規制しません。ただし、管制塔より可読性があることが必要。
- ・登録ゼッケンはご自身での制作となります。事務局では用意しませんのでご注意ください。

■ゼッケン登録について

- ・先着順にて各クラス共、希望のゼッケンナンバーを登録することができます。
- ・一度登録されたゼッケンは解除のお申出がない限り、使用し続けることができます。ただし、特例を除き、1年以上不参加の場合は自動消滅となります。
- ・希望ゼッケンナンバーがすでに登録されている場合は、他のナンバーへ変更して頂くことがあります。
- ・idlersclub以外のサーキットイベントなどで、長年使用されているゼッケンナンバーをお持ちの場合でも、idlers Gamesの中では、あくまでも先着登録となりますので、ご了承ください。
- ・すでに登録されているゼッケンナンバーでも、他の方よりのお申し出があり、登録車輛がそのイベントで欠場の場合に限り、使用を特に認めます。
- ・混走などで登録ゼッケンが使用できない場合があります。その場合は事務局でゼッケンをご用意いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

■チャンピオンゼッケンについて(年間参加51%以上において成立)

- ・前年度の各クラスチャンピオンの方に事務局より「チャンピオンゼッケン」が支給されます。
- ・チャンピオンゼッケンは3枚1組で1回のみ支給されます。ゼッケンを提示する位置は左右のドアとボンネットです。
- ・チャンピオンゼッケンを支給されたドライバーは特例を覗き、装着が義務となります。
- ・チャンピオンゼッケンの効力は1年間です。チャンプを取得しない限り、次年度の連続使用はできません。

### ■ピットレーン進入について

- ・ピットレーンへは右ウィンカーを点滅させ、ピットレーン入り口より進入します。本コースからのイエローラインカットは、ペナルティの対象になります
- ・ピットレーンは一方通行です。特例を除き、バックすることはできません。バックギアを使用し、ピットレーンを逆走した場合、失格となります
- ・走行路は、一番コース寄りとします。ピットゾーンへの進入の場合、ピット最近部からピットゾーンへ向かってください

### ■ピットレーンの通過速度について

- ・ピットレーンを走行する競技車輛の制限速度は、もてぎ、筑波ともに40Km/h以下とします（イベントにより変更になる場合があります）
- ・速度超過の場合は、ペナルティの対象になります

### ■ローリングスタート

- ・耐久レースのスタートやフルコースコーションの解除で適用されます
- ・スタートラインを通過したところからスタート

### ■再スタート

- ・フルコースコーション時はポストの黄旗提示がなくなった時点で再スタート
  - ・SCによるローリング後の再スタートは、SCがピットレーンに入っても追い越しはできません
- スタートラインを通過したところから再スタート

### ■ピットアウトについて

- ・ピットレーンエンドのオフィシャルの指示に従い、コース進入時の第1コーナーは、インベタで走行
- ・ピットアウト時、特例をのぞき押しがけはできません
- ・エンジンが始動しない場合、押しがけはできません。バッテリーなどを用意し、ジャンプコード接続によって始動

### ■車輛をコース外に停止する時

- ・エンジンを停止し、キーを残したまま、ドアをロックせず、ヘルメットを装着したままで、ガードレールの外へ避難し、回収を待ってください

### ■フルコースコーション

- ・全ポストでイエローフラッグとSC（セーフティカー）が提示
- ・SCは、基本的にトップ車輛の前を走行
- ・この間は、コース上、または、近辺でオフィシャルが作業を行っている可能性が高く、スリップなどが起きないように充分注意
- ・この間は追い越し禁止・この間の走行時速は60km/h

### ■パドックについて

- ・パドック内において、車輛テスト（ブレーキテストやウォームアップなど）は絶対に行わないでください

### ■健康状態

- ・レースへの参加にあたり、事前に健康診断を行うことを極めて強く推奨
- ・特に、心不全、脳梗塞などの検査を行うことを極めて強く求めます
- ・癲癇の治療を受けていない、癲癇の治療薬を常時服用していないドライバー／メカニックは参加できません
- ・仮に事実を伏せて参加し、事故を発生させた場合、相手車輛の補修の全額負担、コース補修の全額負担を負うものとします
- また、当人が受けた人的損傷に対し、主催者、コース、オフィシャルは一切の責を負いません

### ■特別ルール

チェッカー後、前方に走行車輛があり、これを追い越さ無いために急制動を行うのは危険  
 よって、筑波サーキットにおいてのみ、安全に充分な減速が可能となるまでチェッカー後に追い越すことを認めます  
 その際、1番ポストにて、チェッカーと青旗を提示  
 筑波サーキットにおいては、チェッカーを8番ポストでも提示

### ■ゴール / 表賞について

- ・フラッグタワーより、チェッカーフラッグを振動表示します。チェッカー後は全ポストで旗を静止表示します
- スピードを落として、ピットインしてください。チェッカーを受けた後は追い抜きは禁止
- ・オフィシャルの誘導がない場合、コースをショートカットする事はできません
- ・各クラス3位まで表彰

## ■装備規定

### ■レーシングスーツ

- ・レーシングスーツの着用が義務（カートスーツは不可）
- ・レーシングスーツは FIA 公認(8856-2000 規格)などの不燃素材による 4 輪用とし、同素材のアンダーウェア/フェイスマスクの着用を強く求めます
- ・刺繍、ワッペン等の装着はレーシングスーツの外側のレイヤーのみに加工が可能。その際、ISO15025A規格に準拠した耐火性の糸を使用
- ・耐用年数は、製造日表記より10年
- ・規定 / FIA 8856-2000

### ■ヘルメット

- ・FIA/Snell規定の4輪レース用ヘルメットの着用が義務
- ・2輪車競技用のヘルメット着用を禁止
- ・耐用年数は、製造日表記より10年
- ・規定  
FIA 8859-2015 / FIA 8860-2004 / FIA 8860-2010  
Snell SA 2015 / Snell SAH 2010 / Snell SA 2010 / Snell SA 2005 / Snell SA 2000  
SFI 31.1 / SFI 31.1A / SFI 31.2A

### ■シートベルト

- ・4点式以上のフルハーネス式シートベルトの装着を義務付けます
- ・2本の肩部ストラップを持つが、途中で1本になりそのまま車体へ取り付けられるベルト、いわゆる「Y字レイアウト」の肩部ストラップの使用は禁止
- ・肩部ストラップは、ロールオーバー等の場合に確実な拘束のために、胸部拘束の確実性に有利な「クロス」レイアウトにしなければなりません
- ・取り付けにあたっては、自動車製造者により設置された取り付け構造と同等以上の強度を有することとし、以下を目標とする。
- ・腰部 / 肩部ストラップ取り付け部：静的引張荷重1,470daNの負荷に耐えることが必要
- ・脚部ストラップ取り付け部：静的引張荷重720daNの負荷に耐えることが必要
- ・取り付け金具、ボルト、ナット、ワッシャー、補強プレート等で構成され、自動車製造者により設置された取り付け構造例に倣って取り付ければ、目標強度は満足できる。
- ・車体側の取り付け点1ヶ所に、ストラップ取り付け具を2点以上取り付けてはなりません
- ・取り付け具のボルト、ナットは以下とします（JIS B 0208参照）
- ・材料：S38C～S54Cまたは同等 / ねじ呼び名：7/16-20UNF-2A/2B / ナット有効ねじ高：10mm以上
- ・取り付け部はいかなる場合も「2mm」以上の移動は不可
- ・補強板を設置する場合は、その断面を車体形状に一致させることが必要
- ・材質：SPHCまたは同等・板厚：t=30mm以上・有効面積：40cm<sup>2</sup>以上・車体固定：溶接
- ・シートベルトの加工は不可・耐用年数は、製造日表記より10年

### ■HANSの使用を強く求めます

- ・万が一の事故において、頸部／脊髄、および、脳への障害を低減するために、ハンスの使用を極めて強く求めます
- ・耐用年数は、製造日表記より10年
- ・規定 / FIA基準8858

### ■レーシングシューズ

- ・耐火炎レーシングシューズを着用・耐用年数は、製造日表記より10年
- ・規定 / FIA基準8856-2000

### ■レーシンググローブ

- ・耐火炎レーシンググローブを着用・耐用年数は、製造日表記より10年
- ・規定 / FIA基準8856-2000  
FIA 8859-2015/FIA 8860-2004/FIA 8860-2010  
Snell SA 2015/Snell SAH 2010/Snell SA 2010/Snell SA 2005/Snell SA 2000  
SFI 31.1/SFI 31.1A/SFI 31.2A

### ■フェイスマスク

- ・耐火炎バラクラバ（フェイスマスク）を着用・耐用年数は、製造日表記より10年・規定 / FIA基準8856-2000

### ■アンダーウェア/ソックス

- ・耐火炎アンダーウェア/ソックスを着用・耐用年数は、製造日表記より10年・規定 / FIA基準8856-2000

### ■その他

- ・カート用、オートバイ用のヘルメット/レーシングスーツは使用できない。
- ・ジェット型ヘルメットを使用の方は必ずフェイスマスクを着用してください。
- ・筑波サーキットにおいては、レーシングスーツの着用が必要です。シングルレイヤーでも可。オープンカー、グラストップ、Tバールーフ車輦で、6点式以上のロールケージを装着していない場合は、フルフェイスのヘルメットの着用が必要です。

### ■その他・個別の規定に記載した内容が共通項目と違う場合、個別の規定が特別規定として優先します。

共通項目-5 / 装備規定

項目は随時更新する場合があります

**■獲得ポイント****●順位ポイント**

- ・クラスごとに順位に該当するポイントが設定されます。
- ・各レースポイントの合計によって、シリーズチャンピオンを決定します。
- ・ステップアップによるクラス移動は、前走クラスでの獲得ポイントの100%を移行することができます。
- ・ポイントは車輜ではなくドライバーに対して加算されます。シーズン途中での車輜変更他の事情でクラス変更などの場合は、80%のポイントが新しいクラスへ持ち越しができます。
- ・全戦参加の方には、皆勤賞として、通常のドライバーズポイントの他に、トータルポイントに対して10ポイントが加算されます。
- ・耐久に参加の場合は、チームに対してポイントが付きますので、ドライバーにはポイントは付きません。(皆勤賞含む)
- ・シーズン途中でのゼッケン、および、エントリー名の変更を行う場合、ポイントの引き継ぎはできません。
- ・当日参加の方にポイントはつきません。ただし、皆勤は対象となります。
- ・最終戦のクラス移行においてクラス移行を行う場合は、ポイントを持ち越すことができません。

#### ■サインガード付近について

- ・サインガード上に登ることはできません。・サインガード、および、サインガード前のガードレールなどに腰をかけることは禁止です。
- ・ピットレーン・サインガードでは安全のため、手に持つ傘などを使用することができません。ハイヒール、サンダルを着用の方、子供の単独、ペットの立ち入りもできません。また、全面火気厳禁です。

#### ■ピットガレージ、パドックについて

- ・ピットは共有です。荷物や工具を置くなど、協力し合いながら使用してください。車輛のメンテナンスなどはピット内では行えません（耐久を除く）。パドックの、駐車指定位置にて行ってください。また、雨天の場合はオープンカーの方へ、ピットをお譲りください。
- ・ピット内では喫煙、火気、高熱を発生する機材などの使用を禁止します。喫煙は灰皿が置かれている喫煙スペースでお願いします。（ピット内、ピット前、パドック全面は火気厳禁です）

#### ■パドックについて

- ・パドック内において、車輛テスト（ブレーキテストやウォームアップなど）は絶対に行わないでください。
- ・お子さんの単独での乗り物の使用は全面禁止です。（キックボードやローラーシューズなども含む）
- ・大人が乗り物を使用する場合、最徐行を義務とします。
- ・パドックも全面火気厳禁です。喫煙は灰皿が設置してある喫煙スペースでお願いします。
- ・パドック、ピットを含む施設内において、お子さんの手は保護者の方が絶対に離さないようにしてください。
- ・パドック、ピットは競技車輛が分刻みで移動をくり返します。大変危険な場所であるということを認識してください。  
また、お子さんに何が、どうして危険であるかを教えてあげてください。

#### ■リザルトについて

- ・決勝リザルトは表彰式にてお渡しします。Games 終了後のリザルトの送付には残念ですが、一切応じられません。

#### ■クラス移行

- ・クラスごとにタイム規定が設定されている場合、基準タイムを超えた場合は、クラスを移行しなくてはなりません。
- ・最終戦の一戦前のレースにおいて基準タイムをクリアした場合、特例として最終戦のみクラス移行の義務を免除します。
- ・最終戦のクラス移行においてクラス移行を行う場合は、ポイントを持ち越すことができません。

#### ■申し込み

- ・締め切りまでに申し込みを済ませてください。申し込みは電話、FAX、メール、口頭、SNSなどのサービス、掲示板、伝言などでは行えません。募集開始時に事務局が提供している申し込み方法でのみ受け付けます。
- ・締め切りまでに参加費を事務局に振り込むことが必要です。申し込みのみ、参加費のみの場合も受け付けません。
- ・締め切り後のキャンセルは特例を除き受け付けません。
- ・当日の申し込みについては、皆勤賞の対象ですが、当日のポイント対象にはなりません。

#### ■健康状態

- ・レースへの参加にあたり、事前に健康診断を行うことを極めて強く推奨します。特に心不全、脳梗塞などの検査を行うことを極めて強く求めます。

#### ■クラス移行

- ・クラスごとにタイム規定が設定されている場合、基準タイムを超えた場合は、クラスを移行しなくてはなりません。
- ・最終戦の一戦前のレースにおいて基準タイムをクリアした場合、特例として最終戦のみクラス移行の義務を免除します。

#### ■その他

- ・シリーズ途中でのゼッケン、および、チーム名の変更を行う場合、ポイントの引き継ぎはできません。
- ・その他の注意事項がある場合は、イベントごとのインフォメーション、または、受理証で確認してください。
- ・タイムスケジュールはイベントごとのインフォメーション、または、受理証で確認してください。
- ・耐久についての約束は別ページになりますので、よく、お読みになってください。
- ・車輛より降ろした荷物などは、各自で管理をしてください。盗難、紛失の場合、事務局、および、オフィシャルは責任を負いません。イベント開催中に盗難や事故などが発生した場合は、すみやかに事務局へ連絡を行ってください。
- ・パドック内やコース上においての人身事故、および、物損事故について事務局、および、オフィシャルは責任を負いません。
- ・パドックやピットレーンには、エンタラントの応援の方や、こどももいます。ピットレーンは制限速度を厳守し、パドックでは最徐行が義務。
- ・ガードレール、および、サーキットの設備に損害を与えてしまった場合、実費をお支払いいただきます。
- ・暴言、暴力、妨害行為などを行った場合は即時失格とし、以後の参加を受け付けません。  
その際の参加費の返却は行いません。損害が発生した場合は弁償をしていただきます。
- ・ご自宅に帰るまでがイベントです。安全運転でお帰りください。



■特別ルール：特定サーキットの走行と全サーキットでの事故など

- 1  
筑波サーキットや袖ヶ浦フォレストレースウェイにおいて、チェッカー後、前方に走行車両があり、これを追い越さないために急制動を行うのは危険。  
よって、安全に十分な減速が可能となるまでチェッカー後に追い越すことを認めます。  
その際、1番ポストにて、チェッカーと青旗を提示します。  
筑波サーキットにおいては、チェッカーを8番ポストでも提示します。
  
- 2  
全サーキットにおいて、衝突などの過失割合は、当事者の申し出を受けた場合、事務局が判断します。  
その際の判断材料はサーキットの記録映像となるが、当人および後方車両の記録映像の提出を求める場合があります。
  
- 3  
全サーキットにおいて、サーキット施設への損傷に対する弁済は、当事者が当日、サーキットに対して行っていただきます。  
または、後日、保険会社などに行っていただきます。  
ただし、複数人によって施設破損を招いた場合、その過失割合は事務局と当事者が話し合いにより決定します。
  
- 4  
リザルト、および、裁定への異議申し立ては該当する競技終了後 15 分以内とします。